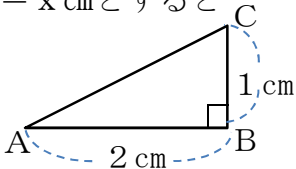
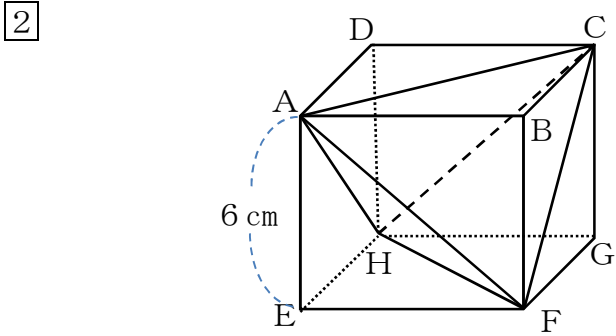




1 斜辺はACで、 $AC = x$  cmとすると  
三平方の定理より  
 $x^2 = 2^2 + 1^2$   
 $x^2 = 5$   
 $x > 0$ であるから  
 $x = \sqrt{5}$

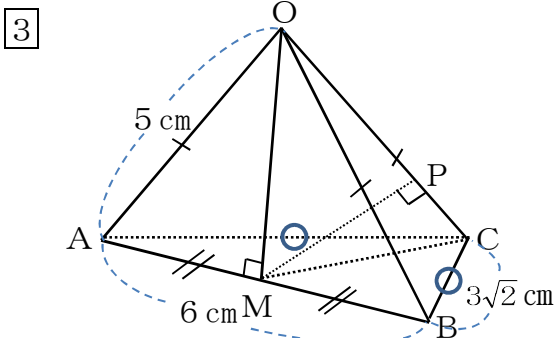


答  $\sqrt{5}$  cm



(1) 立方体  $ABCD-EFGH$  の体積は  
 $6 \times 6 \times 6 = 216 \text{ cm}^3$   
四面体  $CFGH$  の体積は  $\triangle CGF$  を  
底面、 $HG = 6$  cm を高さとする  
 $\frac{1}{3} \times \left( \frac{1}{2} \times 6 \times 6 \right) \times 6 = 36 \text{ cm}^3$   
よって  $216 : 36 = 6 : 1$  であるから  
6 倍になる。 答 6 倍

(2) 四面体  $ACFH$  は、立方体  $ABCD-EFGH$  の体積から同じ体積の  
四面体  $AEFH$ ,  $ABCF$ ,  $CFGH$ ,  
 $ACDH$  を取り除けばよい。  
(1) から四面体  $CFGH$  は立方体の  
体積の  $\frac{1}{6}$  であるから、四面体  $ACFH$   
の体積は、立方体の体積の  
 $\left( 1 - 4 \times \frac{1}{6} \right) = 1 - \frac{2}{3} = \frac{1}{3}$  になる。  
よって、 $216 \times \frac{1}{3} = 72$  答  $72 \text{ cm}^3$



(1)  $\triangle OAB$  は二等辺三角形で、 $M$  は  $AB$

の中点であるから、 $\triangle OAM$  は  $OA$  を  
斜辺とする直角三角形である。

$OM = x$  cm とすると三平方の定理より

$$x^2 + 3^2 = 5^2$$

$$x^2 = 25 - 9 = 16$$

$x > 0$  より

$$x = 4$$

辺の比が  $3 : 4 : 5$  に  
なることに気付いたら、  
 $OM = 4$  cm とすぐ答が  
わかりますね。

答 4 cm

(2)  $\triangle CAB$  は辺の比が  $1 : 1 : \sqrt{2}$  と  
なっているから、直角二等辺三角形で  
ある。また、 $M$  は  $AB$  の中点だから、  
 $\triangle MBC$  も直角二等辺三角形である。  
よって、 $BM = CM = 3$  cm

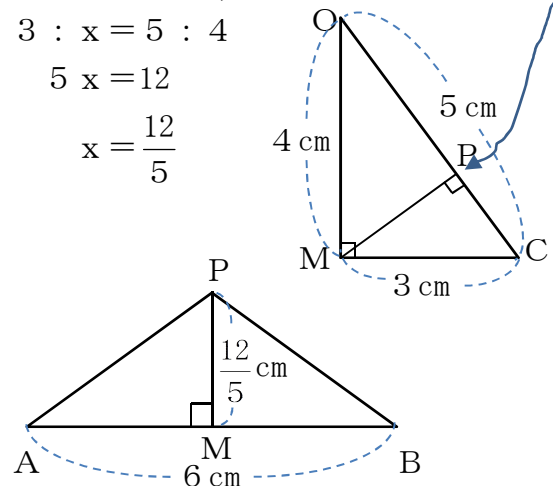
$OC = 5$  cm, (1) より  $OM = 4$  cm で  
 $OM^2 + CM^2 = OC^2$  が成り立つから、  
 $\triangle OMC$  は  $OC$  を斜辺とする  
直角三角形になる。したがって  
 $\angle OMC = 90^\circ$  答  $90^\circ$

(3)  $\triangle PAB$  は  $PA = PB$  の二等辺  
三角形で、 $PM$  が最小のとき面積も最小に  
なる。 $PM$  が最小となるのは  $PM \perp OC$  と  
なるときで、 $\triangle CMP \sim \triangle COM$  となる  
から、 $CM : MP = CO : OM$   
 $CO = 5$ , (1) より  $OM = 4$ ,  
(2) より  $CM = 3$ ,  $MP = x$  とすると

$$3 : x = 5 : 4$$

$$5x = 12$$

$$x = \frac{12}{5}$$



したがって、 $\triangle PAB$  の面積は

$$\frac{1}{2} \times 6 \times \frac{12}{5} = \frac{36}{5} \quad \text{答 } \frac{36}{5} \text{ cm}^2$$

7.2 cm<sup>2</sup> も可